



イランイスラム共和国における障害者支援
—2011年 かながわ国際交流財団助成事業—

イラン訪問活動報告書



特定非営利活動法人
イランの障害者を支援するミントの会

ごあいさつ

理事長 パシヤイ モハメッド



私がミントの会の活動を始め約6年の月日が流れ、NPOになってから約1年半の月日が流れました。車いすの生活になり自分に何ができるのか、何をこれからやりたいのか目の前にある現実を見つめながら、進んできた毎日です。

2011年イランと日本を行ったり来たりする毎日の中で、時にはゆっくりと自分の時間を過ごしたいと思いつつも、私の背中を押しているのは障害者の方達からのメールや電話から聞こえる声です。その声は一人一人違っていますが、仲間と呼びかける声であり、話を聞いているうちに私はその人達の生活に引き込まれ一緒になって考え悩むこともたびたびあり、仲間と話し合ってきました。今回、かながわ国際交流財団の民際基金の助成を頂き、プロジェクトを行うことができ、神奈川リハビリテーション病院のスタッフの皆様や労災サポートセンター・神奈中バスのご協力で資料を作成して、多くの参加者の中で研修会を開くことができたのは、とてもうれしいことです。ご支援いただいた皆様のおかげでここまで活動の輪が広がってきたものと思い、深く感謝いたします。今後もイランの障害者のために力をつくし、NPOイランの障害者を支援するミントの会の活動を続けたいと思いますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

NPO イランの障害者を支援するミントの会 2011年イラン活動報告

1. はじめに

NPO イランの障害者を支援するミントの会（以下ミントの会）は、2011年8月4日から31日にイランで活動を行いました。障害者、NGO、医療機関、行政の各アクターにアプローチし、支援の輪を広げることができました。またミントの会の広報活動にも進展がありました。今回の活動で築いた現地の各アクターとの関係は、今後のミントの会の活動において大きな足掛かりとなるとおもわれます。

2. 目的

イランの障害者の生活の質を向上させるため、今回の活動では3つの目的を掲げた。

- ② 現地の障害者に対し直接支援を行う。また彼らの生活の現状を知り、ニーズを把握する。
 - ②日本のリハビリ・訪問看護のノウハウやバリアフリー技術を伝える
 - ③ミントの会の活動を現地で広める
-

3. メンバー

パシャイ・モハメッド	理事長（バリアフリー当事者リーダー・ピアカウンセラー）
大澤照枝	理事（訪問看護師）
大澤孝明	事務局（会社員）
小山佳那子	スタッフ（介護士・大学生）

4. 滞在期間

パシャイ・小山	2011年8月4日（木）～31日（水）
大澤照枝・孝明	2011年8月12日（金）～20日（土）



5. 概要

イランの障害者団体である NGO テヘラン脊損協会及び障害者施設キャハリーザクと共同で、車いす障害者を対象として、障害者支援を実施する。

期間・・・2011年8月

地域・・・イランイスラム共和国 テヘラン州・キャラジ州内

1、在宅ケア研修(2か所)

在宅生活に必要な介護や看護・リハビリの知識や技術を伝えるために、日本で作成したペルシャ語版ガイドブック（在宅生活基礎と排泄）とDVD（バリアフリー・移動介助）を基に、研修会を行う。また、在宅成果上必要となる福祉用具(ロボマットやユニバーサルカップ)について使用方法の説明や相談を行う。

対象者は障害者及び家族・ケアスタッフ

2、障害者の自宅訪問(10か所)

在宅で生活している障害者の自宅を訪問し、ピアカウンセラーが中心となってガイドブックやDVDによる情報提供を行い、生活上各々のケースが抱えている問題を相談し、行政や当事者団体及び障害者の家族が一体となって、問題解決のための訪問活動を行う。

3、バリアフリー相談事業

バリアフリー当事者リーダーが中心となって、日本で行われているバリアフリーの実情を報告（映像スクリーン使用）し自宅内でのバリアフリーと屋外でのバリアフリーを進めるための相談会を行う。

対象はイラン福祉省・NGO 団体・行政担当者ほか



あ と が き

2011年5月、知人から連絡がありました。

27歳の男性が水泳中に頭を打ち寝たきりになり、床づれの手術が必要だがお金がなく手術を受けることができない、どうにか助けてほしいと・・・

早速イマームホメイニ病院に連絡し、緊急に受診して手術を受けさせました。

そして今回の研修会の為に8月にイランへ行ったとき、日本のお土産を渡そうと思って連絡を取ったところ、2週間前に死亡したと伝えられました。

手術をして元通り傷は治りましたが、家族はケアの方法がわからず、再び彼の状態は悪化しました。そしてなすすべもなく彼は息を引き取ったそうです。

貧困の問題もありますが、医療が家庭に届いていないことが一番の課題であることを痛感しました。

このようなことが少しでもなくなるように活動を続けていかなければと思います

日本とイランの障害者の交流はミントのように広がり深まります。

…………世界中の誰でもが自立した生活ができるように…………

特定非営利活動法人

イランの障害者を支援するミントの会

TEL 080-3496-3423

FAX 0463-88-6964

Mail mint_assist@yahoo.co.jp

URL mint-assist.com